



開講式

第1回かながわ教育学講座 「子どもに身に付けさせたい力」

《神奈川県教育委員会 花田教育長のメッセージより》



「かながわティーチャーズカレッジ」を通して、教育という大きな使命に向き合おうとする仲間と共に切磋琢磨し、教育課題への理解を深め、それを解決する力を身に付けていただきたい。

《神奈川県立総合教育センター 田中所長(カレッジ長)の講話より》



より良い未来、より良い社会を創造するという学校教育の崇高な使命を自覚するとともに、人格的資質、授業力、課題解決力の3つの要素に分けて学校教育で実行する力を学んでほしいと思います。学校教育を担う一翼としての活躍を期待します。

「子どもに身に付けさせたい力」

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の指導主事をシンポジストとして「教員の魅力や子どもの成長を感じた瞬間」をテーマに展開しました。

シンポジウム後の演習では、初めてのグループ活動を行いました。自己紹介の後、各グループで「子どもに身に付けさせたい力」について話し合い、育てたい子ども像を共有しました。



第2回かながわ教育学講座 「神奈川県の求める教職員像」

令和4年8月21日、第2回かながわ教育学講座を開催しました。

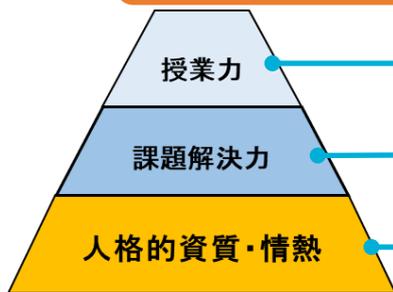


総教C
キャリアクター
「グッタ」

「教員になる」そのために「学び続ける」



神奈川県立総合教育センター
八田 教育事業部長



子どもが自ら取り組む、わかりやすい授業の実践

子どもや社会の変化による課題の把握と解決

教職員としての人格的資質・教職への情熱

神奈川県の教育施策の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」より、神奈川県が子どもたちに「たくましく生きる力」「思いやる力」「社会とかかわる力」の3つの「人間力」を育成することを目指していること、「子ども一人ひとりの個性と能力を大切に、共に成長する場」としての学校づくりのために指導力ある教職員の確保と育成に取り組んでいること、そして教員に求める資質・能力の3つの要素について説明しました。

第3回かながわ教育学講座 「コミュニケーション能力の育成」

令和4年9月4日、第3回かながわ教育学講座を催し、講師にコアネット教育総合研究所 横浜研究室室長 福本雅俊先生をお招きしました。



前回に引き続き、ソーシャル・ディスタンスの確保等、新型コロナウイルス感染症予防対策に注意を払いながら、集合研修を実施しました。

コミュニケーションにおいて大切なことを体験するため、近くの座席の受講者とペアワークを行ったり、その感想を全体で共有したりしました。学校でのコミュニケーションは、同僚だけでなく、子どもや保護者が対象となり、多くの場合これまで体験したことがないようなシチュエーションになること、また子どもの思考や気持ちを引き出すような関わりが必要なことから、より専門的なスキルが求められます。

「傾聴」や「限定質問と拡大質問」、「反映」、「認知」等の代表的なコーチングスキルを身に付けるだけでなく、子どもが安心して話せる場を作っていけるような教員を目指してほしいと思います。

コーチングスキル(児童・生徒の考えていることを引き出すためのスキル)

- 傾聴
- 限定質問と拡大質問
- 反映
- 認知

ティーチング

メンタリング

コーチング

対児童・生徒とのかかわり方の特徴

第4回かながわ教育学講座 「社会人としての自覚と責任、信頼関係の構築」

令和4年10月6日、第4回かながわ教育学講座を催しました。



教員に求められるコンプライアンス

コンプライアンスとは、個人はもちろん、組織としても法令や社会的規範を遵守することです。教職員一人ひとりが「神奈川県先生」という自覚をもち、気を引き締めることが大切になります。また、児童・生徒一人ひとりが大切にされる学校づくりのためには、教職員の同僚性やチーム力は欠かせません。

一人ひとりが当事者意識を持つこと、コミュニケーション力を高めること、自分の行動や思考パターンを客観的に理解することを意識し、今から日常生活にいかしていきましょう。

信頼される「社会人」としての教師

社会人としての自覚とは、単に自分を社会人として思い込むだけでなく、社会人としてすべきこと、求められている役割を自覚し、行動できることをさします。社会人としての行動は、責任を伴います。

実践力向上講座やスクールライフサポーター、学生支援ボランティアなど児童・生徒の指導にかかわるのであれば、児童・生徒から「先生」と呼ばれ、学校という組織の一員になります。教師としてふさわしい言動や態度を意識しましょう。



神奈川県立総合教育センター
梶原 教育指導専門員



神奈川県立総合教育センター
吉田 教育指導員

